

Degeneration of geometric structures
on Seifert fibered manifolds

都立大理 大鹿 健一

(Ken'ichi Ohshika)

3次元には geometry (maximal な homogeneous metric で compact quotient をもつもの) が 8種類 (\mathbb{H}^3 , \mathbb{E}^3 , S^3 , $\mathbb{H}^2 \times \mathbb{E}$, $S^2 \times \mathbb{E}$, $\widetilde{SL}_2\mathbb{R}$, Nil, Sol) あることが知られている。そのうち 6種類 ($\mathbb{H}^2 \times \mathbb{E}$, $\widetilde{SL}_2\mathbb{R}$, \mathbb{E}^3 , Nil, $S^2 \times \mathbb{E}$, S^3) は Seifert fibered manifold, 即ち 2-orbifold 上の S^1 -bundle のもつ geometry である。M を Seifert fibered mfd とする時, $\mathcal{T}(M)$ で M の Teichmüller space 即ち M 上の geometric structure の isotopy classes 全体の空間に C^∞ -topology から induce される topology をいれたものを表す。以前 [Ohshika 1] に於いて, $\mathcal{T}(M)$ の homeo type が調べられたが, ここで $\mathcal{T}(M)$ は 特に M が $\mathbb{H}^2 \times \mathbb{E}$, $\widetilde{SL}_2\mathbb{R}$, \mathbb{E}^3 , Nil のいずれかの geometric structure をもつ時, surface の Teichmüller space と似た性質を持つことを示唆した。Surface の Teichmüller space については, Thurston ([Thurston 1]) により, それが自然に disk に compactify されることが示されている。

そこで上の M について, " $\mathcal{G}(M)$ は自然に disk に compactify されるか? " という問が考えられるが, それが肯定的に示せることがわかった。又それに伴い $\pi_0 \text{Diff}(M)$ の元の分類が得られた。尚内容の詳細は [Ohshika 3] を参照して頂きたい。

以下降話を単純にする為 M は hyperbolic base orbifold O を持つ Seifert fibered mfd とし, orientable, closed とする。
又 $O \neq S^2(2,3,r) \cup S^2(3,3,r)$ とする。

§ Hyperbolic 2-orbifolds

Hyperbolic 2-oid O について, O 上の simple geodesics から成る closed set で, O 上の cone point は angle π 以外のものを含まず, cone angle π の cone pt. は 唯一つの leaf の端点としてのみ管み得るようなものを, O 上の geodesic lamination という。Geodesic lamination で transverse measure をもったものを measured lamination という。 O 上の measured lamination 全体の空間を $\mathcal{ML}(O)$ で表す。 $\mathcal{ML}(O)$ には measure topology と呼ばれる topology が入る。 $\mathcal{ML}(O)$ には $\mathbb{R}_+ = [0, \infty)$ が measure を実数倍することにより act する。 $\mathcal{ML}(O) \cong \mathbb{R}_+ \backslash \mathbb{R}_+$

に quotient topology を入れたものを $\mathcal{PR}(O)$ と表す。

$$\text{Prop } \mathcal{ML}(O) \cong \mathbb{R}^{-3\chi(X_0) + 2k}, \quad \mathcal{PR}(O) \cong S^{-3\chi(X_0) + 2k - 1}$$

但し $\chi(X_0)$ は O の underlying surface X_0 の euler 数。 k は O の cone points の数。

次に base of O の Teichmüller space $\mathcal{T}(O)$ について, その compactification を考える。これには O が orientable な場合のみ使える方法と, non-orientable な時にも使える方法と二通りあり, 前者を後で使う必要があるので双方を考える。

(O は orientable とは限らなかつた。)

まず O は oriented とする。 O 上の measured lamination (L, μ) は universal cover \mathbb{H}^2 上の measured lamination $(\tilde{L}, \tilde{\mu})$ に lift する。 $(\tilde{L}, \tilde{\mu})$ に関して, \mathbb{H}^2 の left-earthquake map, $E_{(\tilde{L}, \tilde{\mu})} : \mathbb{H}^2 \rightarrow \mathbb{H}^2$ が \mathbb{H}^2 の isometry の左からの合成を除いて unique に定まる。これは直観的に言えば, \tilde{L} の leaf に沿って, 外側から measure の分だけの左への translation を合成した写像である。一方 $\mathcal{T}(O)$ の元は $\pi_1^{orb}(O)$ から $\text{Isom}(\mathbb{H}^2)$ への faithful discrete representation に対応している。 $\mathcal{T}(O)$ の元 g を 1 つ fix し, それに対応する representation $\rho_g : \pi_1^{orb}(O) \rightarrow \text{Isom}(\mathbb{H}^2)$ をとる。 (L, μ) に $E_{(\tilde{L}, \tilde{\mu})} \rho_g E_{(\tilde{L}, \tilde{\mu})}^{-1} : \pi_1^{orb}(O) \rightarrow \text{Isom}(\mathbb{H}^2)$ へ

対応する $\mathcal{T}(0)$ の元を対応させる写像を $\varepsilon: M\mathcal{L}(0) \rightarrow \mathcal{T}(0)$ と表す。

Thm. $\varepsilon: M\mathcal{L}(0) \rightarrow \mathcal{T}(0)$ は homeomorphism.

$M\mathcal{L}(0)$ は $\mathcal{PL}(0)$ 上の open cone だと思えるから, 上の ε によって, $\mathcal{T}(0)$ に $\mathcal{PL}(0)$ 上の open cone としての構造が入る. このようにして, $\mathcal{T}(0)$ を $\mathcal{PL}(0)$ を boundary に持つ disk の内部と思えるが, 以下に見るようにこの compactification は自然である。

\mathcal{S} を $\mathcal{M}^{orb}(0)$ の torsion free elements 全体の集合とし, $\mathbb{R}_+^{\mathcal{S}}$ は \mathcal{S} から $[0, \infty)$ への関数全体の空間に各点収束の位相を入れたものとする. $PR_+^{\mathcal{S}} = \mathbb{R}_+^{\mathcal{S}} - \{0\} / \mathbb{R}_+ - \{0\}$, $\ell_+ : \mathcal{T}(0) \rightarrow PR_+^{\mathcal{S}}$ を $s \in \mathcal{S}$ について s の geodesic length を各成分とする写像, $m : \mathcal{PL}(0) \rightarrow PR_+^{\mathcal{S}}$ を infimum measure を各成分で対応させる写像を projectify したものとす。

Thm \mathcal{O} を orientable とする時, $\ell_+ \cup m : \mathcal{T}(0) \cup \mathcal{PL}(0) \rightarrow PR_+^{\mathcal{S}}$ は injective で, $m(\mathcal{PL}(0))$ が $\ell_+(\mathcal{T}(0))$ の $PR_+^{\mathcal{S}}$ での completion の boundary になっている. その completion は \mathcal{O} での disk への compactification に一致する。

次に O が non-orientable の時にも使える方法を考える。
 $\mathcal{M}(g|O)$ で O 上の measured foliation で cone point では
 1-pronged saddle を許しその他では singularity は通常の
 saddle であるようなもの全体の集合とする。(measure topology
 を入れる。)

Prop. $\mathcal{M}(g|O) \longleftrightarrow \mathcal{M}(g|O)$ 左の図式を可換にする
 $\begin{array}{ccc} & & \\ \searrow m & & \swarrow m \\ & \mathbb{R}_+^S & \end{array}$ 様な $\mathcal{M}(g|O)$ と $\mathcal{M}(g|O)$ の間
 の homeomorphism が存在
 する。

一方 $\mathcal{M}(g|O)$ について surface の場合 (Fathi et al. 参考)
 と同じ議論を行うことにより, $\mathcal{P}(g|O) := \mathcal{M}(g|O) - \text{poly}/\mathbb{R}_+ \text{-poly}$
 が $\mathbb{P}\mathbb{R}_+^S$ での $\mathcal{L}_+(g|O)$ の boundary に map されることか
 わかる。従って上の Prop. と合わせて O が non-orientable な時
 も前 Thm が成立することかわかった。

§ $\mathcal{G}(M)$ の compactification

M が $\mathbb{H}^2 \times \mathbb{E}$ or $\widetilde{\text{SL}}_2\mathbb{R}$ geometry を持つ場合を考えるが,
 $\mathcal{G}(M)$ は $\mathbb{H}^2 \times \mathbb{E}$ -geometry の場合, M の regular fiber の geodesic

length を 1 とする structure のみの空間とする。(fibration の uniqueness より) この仮定は "up to isotopy" で "diff=1" として invariant)

$E = \mathbb{H}^2 \times \mathbb{R}$ or $\widetilde{SL}_2\mathbb{R}$ $p: E \rightarrow \mathbb{H}^2$ を base geometry \wedge の projection とする。 $v \in T_x(E)$ が horizontal とは、 $\|v\|_E = \|\pi_*(v)\|_B$ であること。 vertical とは $\|\pi_*(v)\|_B = 0$ のこと。 curve は その tangent vector が全て horizontal の時 horizontal という。

Lemma γ を B の geodesic, $x \in E$ を $p(x) \in \gamma$ なる元とする時, x を通る γ の horizontal な lift が 唯一存在し, それは geodesic になる。

以下 $\chi < 0$ が orientable の場合を考える。 Measured lamination $(L, \mu) \subset \mathbb{H}^2$ について, $E_{(L, \mu)}: \mathbb{H}^2 \rightarrow \mathbb{H}^2$ を上の lemma により unique に horizontal に lift することができる。それを $E_{(L, \mu)}^h: E \rightarrow E$ とする。 $\mathcal{J}(M)$ の各元は, ([Waldhausen], [Scott] の定理により,) $\pi_1(M)$ の $\text{Isom}(E)$ への faithful discrete representation. に対応している。 $g \in \mathcal{J}(M)$ を fix することにより, $\nu_g: \pi_1(M) \rightarrow \text{Isom}(E)$ が定まる。 (L, μ) に, $E_{(L, \mu)}^h \nu_g E_{(L, \mu)}^{h^{-1}}: \pi_1(M) \rightarrow \text{Isom}(E)$ に対応する $\mathcal{J}(M)$ の元を対応させることにより, $\varepsilon_g^h: \mathcal{M}(2, 10) \rightarrow \mathcal{J}(M)$ が定まる。

一方 [Ohshika 1] に示されているように $f: \mathcal{T}(M) \rightarrow \mathcal{T}(0)$ なる fibre bundle があり, その fibre は $H'(X_0; \mathbb{R})$ と同相であることがわかっていた. $g_1, g_2 \in \mathcal{T}(M)$ が $f(g_1) = f(g_2)$ ならば image of $r_{g_1}, r_{g_2}^{-1} \in \text{Isom}^+(\mathbb{R})$ と思える. $E_g^v: H'(X_0; \mathbb{R}) \rightarrow \mathcal{T}(M)$ を $c \in H'(X_0; \mathbb{R})$ に $r_{g'} r_g^{-1}(c) = c(c)$ となる $g' \in f^{-1}(f(g))$ を対応させる写像とする. このとき, $E_{E_g^v(c)}^h(L, \mu) = E_{E_g^v(c)}^h(L, \mu)$ が成立する.

Theorem $M\mathbb{Z}(0) \times H'(X_0; \mathbb{R}) \xrightarrow{E_{E_g^v(c)}^h} \mathcal{T}(M)$ は homeomorphism.

次にこれが自然な $\mathcal{T}(M)$ の compactification を導くことをみる. S_1 を $\Pi^{\text{orb}}(0)$ の torsion free elements 全体, S_2 を $\Pi(M)$ の元で $\Pi^{\text{orb}}(0)$ の torsion free element に落ちるもの全体とする. $l_1: \mathcal{T}(M) \rightarrow \mathbb{R}_+^{S_1}$ を $m \in \mathcal{T}(M)$ に $g(m)$ における geodesic length を各成分で対応させる写像, $l_2: \mathcal{T}(M) \rightarrow \mathbb{R}^{S_2}$ を m に対して $S \in S_2$ -成分は $r_m(S)$ を表す geodesic γ により $p_{r_m(S)}$ の horizontal な lift との間の差を対応させる写像とする. $m_1: M\mathbb{Z}(0) \rightarrow \mathbb{R}_+^{S_1}$ を各成分で infimum measure を与える写像, $m_2: H'(X_0; \mathbb{R}) \rightarrow \mathbb{R}^{S_2}$ を c に $p^*(c)(S) \in S_2$ -成分として対応させるもの, π を projectivisation map とする.

Thm $\pi_0(l_1, l_2) : \mathcal{T}(M) \rightarrow P(\mathbb{R}_+^{S_1} \times \mathbb{R}^{S_2})$ は injective
 でその image は disk に compactify され, boundary は
 $(\pi_0(m_1, m_2) (ML(0) \times H^1(X_0; \mathbb{R}))) \cong P(ML(0) \times H^1(X_0; \mathbb{R}))$.

以上で O が orientable な時の $\mathcal{T}(M)$ の compactification
 ができた。

O が non-orientable な場合, \tilde{O} を O の orientation double
 cover, \tilde{M} を \tilde{O} に M を pull back した Seifert fibered
 mfd とする。すると $\mathcal{T}(M) \rightarrow \mathcal{T}(\tilde{M})$, $ML(0) \hookrightarrow ML(\tilde{O})$,
 $H^1(X_0; \mathbb{R}) \hookrightarrow H^1(X_{\tilde{O}}; \mathbb{R})$ 等は injective

Prop $\mathcal{T}(M) \hookrightarrow \mathcal{T}(\tilde{M}) \xrightarrow{\pi_0(l_1, l_2)} P(\mathbb{R}_+^{S_1} \times \mathbb{R}^{S_2})$ の
 image は disk に compactify され, その boundary は
 $P(ML(0) \times H^1(X_0; \mathbb{R}))$ に同相。

これで O が non-orientable な場合も $\mathcal{T}(M)$ の compactification
 ができた。

§ Diffeomorphisms の分類

M の fibration の uniqueness により $(\text{TopDiff}^+(M))$ は,

$P(\mathbb{R}^3 \times \mathbb{R}^{2n})$ に act する。従って $\pi_0 \text{Diff}^+(M)$ は $\mathcal{T}(M)$ に act しその interior では $\mathcal{T}(M)$ の自然な action に一致する。 $\overline{\mathcal{T}(M)}$ は disk だから、 $f \in \pi_0 \text{Diff}^+(M)$ は $\mathcal{T}(M)$ の何処かに fixed pt. を持つ。その位置によって $\pi_0 \text{Diff}^+(M)$ の元は分類される。

Prop [f] $\in \pi_0 \text{Diff}^+(M)$ について、[f] が $\mathcal{T}(M)$ の中に fixed pt. をもつ $\Leftrightarrow \exists n > 0$ $f^n \underset{\text{isot.}}{\simeq} \text{id}$.

• $\mathcal{T}(M)$ には fixed pt. は持たないが、 $\mathcal{T}(0)$ に fixed pt. をもつ時、 $\Leftrightarrow \exists n > 0$ f^n は vertical Dehn twist に isotopic.

• $\overline{\mathcal{T}(M)}$ の有理点 (s.c.c. の system の点) に fixed pt. をもつ $\Leftrightarrow f$ で invariant な saturated incompressible tori がある。(reducible 型)

$\left\{ \begin{array}{l} \mathcal{T}(0) \text{ の section の } \partial \text{ である時} \\ \text{ " " " " " " } \end{array} \right. \begin{array}{l} \text{その上で id. に isot.} \\ \text{ない} \\ \sim \text{でない} \end{array}$

• その他の場合 $\Leftrightarrow f$ で invariant な saturated lamination の方がある。

Prop $\partial \mathcal{M}$ の中である $f \in \Pi_0 \mathcal{P}(\mathcal{M})$ と $g \in \mathcal{M}$ について
 $\text{cong } n \rightarrow \infty$ が収束する点の全体は dense.

References

- [Fathi et al] Travaux de Thurston sur les surfaces
 Astérisque
- [Ohshika 1] Teichmüller spaces of Seifert fibered
 manifolds with infinite π_1 ; preprint
- [Ohshika 2] Finite subgroups of mapping class groups
 of geometric 3-manifolds; preprint
- [Ohshika 3] Degeneration of geometric structures on
 Seifert fibered manifolds; preprint.
- [Scott] Homotopy implies isotopy for some Seifert
 fibre spaces; preprint
- [Thurston] On geometry and dynamics of diffeomorphisms
 of surfaces; preprint
- [Waldhausen] On irreducible 3-manifolds which are
 sufficiently large